



# 一般社団法人四日市青年会議所 2025 年度賀詞交歓会

2025 年 1 月 13 日 (月)

## 【はじめに】

私たちは遙か昔から遠い未来の間の今、「中今」を生きています。

遙か昔の人々が未来を思い描き行動したからこそ今があるのです。今、未来を思い描き行動し運動を起こさなければ、より良い未来は訪れません。遙か昔から遠い未来の間の今、「中今」を、使命感を持ち精一杯生きなければなりません。

## 【創立 70 周年を迎えるにあたって】

1955 年 5 月 15 日、四日市市が空襲により焦土となってから 10 年後に四日市青年会議所が設立されました。今年、四日市青年会議所は 70 周年を迎えます。スポンサーLOM、チャーターメンバー、賛助会員、四日市 JC シニアクラブの皆様、今までご協力、ご尽力いただいた全ての方々に感謝を申し上げます。この機会に改めて四日市青年会議所が続いてきた理由をより明確にし、未来へとつなげていかなければなりません。

【四日市青年会議所として】青年会議所は社会課題を解決する団体であります。では、社会の課題とはなんなのでしょうか。家族という社会、企業という社会、地域という社会の課題です。各々の課題は別であっても社会課題というものには関連性があります。多様性溢れる「個」の集まりである我々が社会課題を解決することで、家族・企業・地域が手を取り合う力強い社会をつくることができます。そのとき重要になるのは、「個」が社会課題を自分事と認識することです。そのような人々が集まるとまちが力強く成長していきます。「個」が関係する家族・会社・地域を良くしましょう。社会の成長は必ず「個」の成長にもつながります。まちに関係する全ての課題に対して運動を起こすことができる団体が我々青年会議所なのです。

昨今、様々な団体が設立されている中で青年会議所もある時代と言われています。しかしながら、40 歳までの限られた時間の中で、自己成長・まちづくり・国際・ビジネスの 4 つの機会がある団体は他には存在しません。青年会議所しか無いのです。そして、この地域には四日市青年会議所があります。この地域の未来を、ひいては日本の未来を変えられるのは、我々青年しかいないのです。

【むすびに】私は生まれ育ったまち、この四日市が大好きです。この大好きなまちがもっと良いまちになり、より良い未来を、より良い原風景を残せる四日市青年会議所でありたいと常に思っています。

四日市は変わったのではない、四日市を変えたのだ、と誇れる未来を創りましょう。

【スローガン】 もっと力強い四日市へ。さあ、頑張ろうぜ！



上記 QR コードを読み取っていただくと資料を閲覧できます。

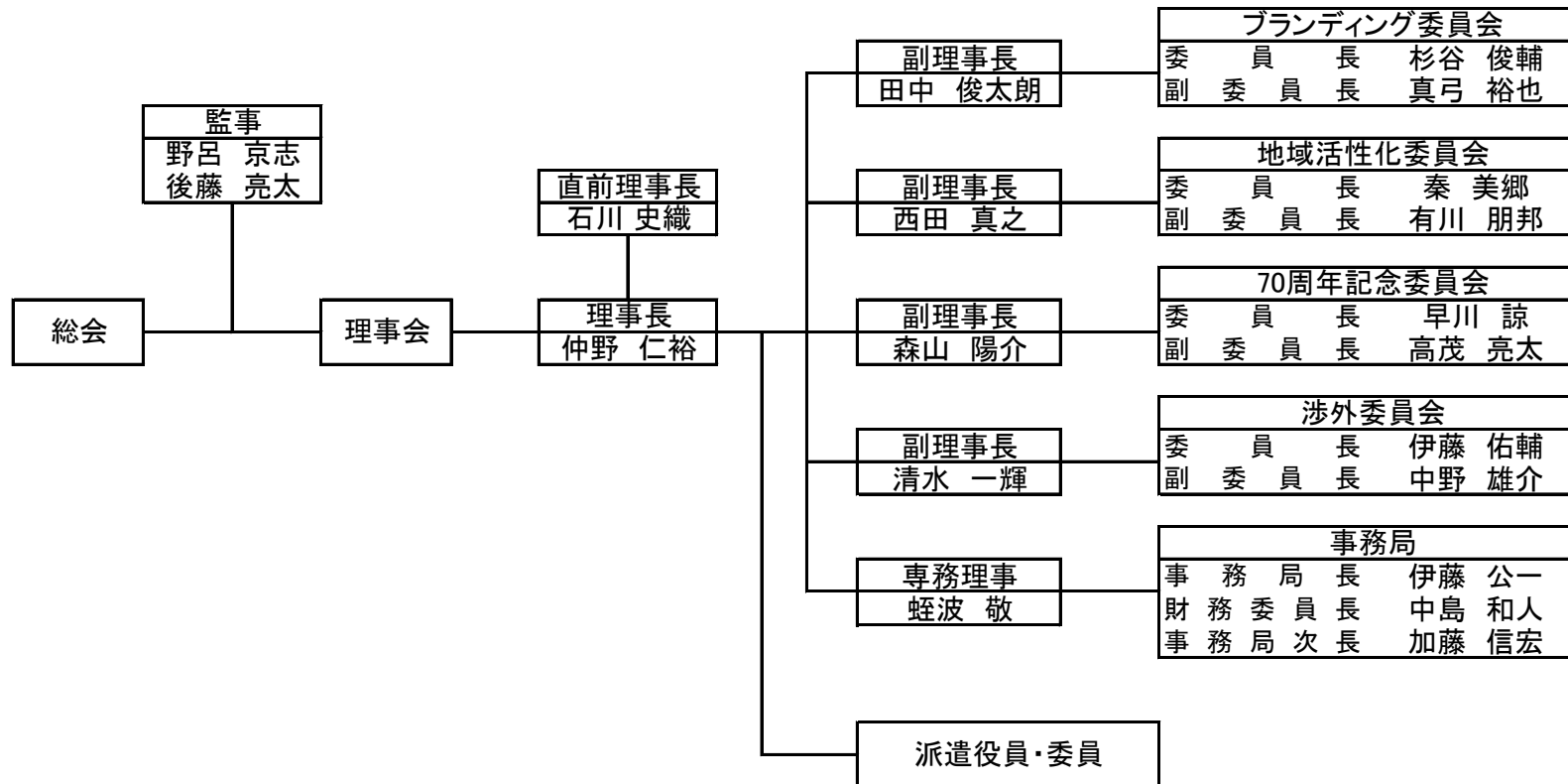
資料内容

四日市青年会議所 2025 年度事業日程表、組織図、委員会基本方針、来賓出席者名簿

# 一般社団法人四日市青年会議所 2025年度事業日程表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
例会日	13日(月)	19日(水)	11日(火)	17日(木)	15日(木)	10日(火)	23日(水)	24日(日)	9日(火)	26日(日)	23日(日)	7日(日)
例 会 総 会	通常総会	例会	例会	例会	例会 (創立70周年 記念式典)	臨時総会	臨時総会	例会	例会	例会	例会	例会
担当	事務局 渉外委員会	ブランディング 委員会	70周年記念 委員会	地域活性化 委員会	70周年記念 委員会 渉外委員会	事務局	事務局	70周年記念 委員会 地域活性化 委員会	ブランディング 委員会	地域活性化 委員会	渉外委員会	事務局
	賀詞交歓会 13日(月)				創立70周年 記念祝賀会 15日(木)  雨港国際青年商會 姉妹締結40周年 記念式典調印式 15日(木)			JC太鼓 1日(金)～3日(日)  サルビア基金 交付事業 24日(日)				卒業生を囲む会 7日(日)
例会場所	四日市市地場 産業振興センター 都ホテル四日市	文化会館	文化会館	文化会館	文化会館 都ホテル四日市	文化会館	文化会館	JR四日市駅周辺	文化会館	四日市商店街	四日市市地場 産業振興センター	都ホテル四日市
理 事 会	4日(土)	6日(木)	5日(水)	3日(木)	4月25日(金)	4日(水)	3日(木)	7月30日(水)	4日(木)	6日(月)	10日(月)	15日(月) 26日(金)
正副理事長 会 議	16日(木)	20日(木)	21日(金)	16日(水)	22日(木)	19日(木)	15日(火)	20日(水)	17日(水)	16日(木)	18日(火)	19日(金)
三重ブロック	第1回役員会議 18日(土)鳥羽  出向者を励ます会 18日(土)鳥羽	第1回 会員会議所会議 16日(日)伊勢	第2回役員会議 2日(日)桑名  第2回 会員会議所会議 16日(日)鈴鹿	第3回役員会議 20日(日)亀山	第3回 会員会議所会議 25日(日)松阪	第4回役員会議 8日(日)鳥羽	第4回 会員会議所会議 13日(日)四日市	第5回役員会議 16日(土)伊賀	第5回 会員会議所会議 14日(日)津  三重ブロック大会 (鈴鹿)	第6回役員会議 19日(日)名張	第6回 会員会議所会議 16日(日)志摩  じゃがいも 秋季大会 (伊勢)	本次年度合同 役員会議 1日(月)鳥羽  本次年度合同 会員会議所会議 1日(月)鳥羽
東海地区	第1回 地区役員会議 14日(金)半田  第1回 会員会議所会議 24日(金)京都	第2回 地区役員会議 10日(月)名古屋	第3回 地区役員会議 14日(金)名古屋	第4回 地区役員会議 12日(土)津島	第5回 地区役員会議 10日(土)鳥羽	第6回 地区役員会議 3日(火)名古屋  第2回 会員会議所会議 26日(木)半田	第7回 地区役員会議 4日(金)下呂	東海コンファレンス 23日(半田)	第8回 地区役員会議 9日(火)下呂	第9回 地区役員会議 17日(金)沼津	第10回 地区役員会議 14日(金)名古屋  第3回 会員会議所会議 25日(火)名古屋	第11回 地区役員会議 16日(火)半田
JCI日本等	京都会議 (京都) 23日(木)～26日(日)					JCI ASPAC (モンゴル) 12日(木)～15日(日)	サマーコンファレンス (横浜) 19日(土)～20日(日)			第74回全国大会 (佐賀) 9日(木)～12日(日)	JCI世界会議 (チュニジア) 2日(日)～9日(日)	
公式事業 (窓口)	京都会議 (渉外委員会)					JCI ASPAC (渉外委員会)	サマーコンファレンス (渉外委員会)	東海コンファレンス (渉外委員会)	三重ブロック大会 (渉外委員会)	第74回全国大会 (渉外委員会)	JCI世界会議 (渉外委員会)	
対外事業 (窓口)	献血 (ブランディング委員会)						献血 (ブランディング委員会)	海洋少年団 みなとまつり (地域活性化委員会)				
サポート委員会	70周年記念	地域活性化	事務局	渉外	地域活性化	70周年記念	ブランディング	事務局	渉外	ブランディング	70周年記念	地域活性化
慶弔担当	地域活性化	70周年記念	事務局	地域活性化	ブランディング	渉外	70周年記念	渉外	事務局	事務局	ブランディング	70周年記念

一般社団法人四日市青年会議所 2025年度 組織図(案)



ブランディング委員会

委員長 杉谷 俊輔  
副委員長 真弓 裕也

## 1) 基本方針

青年会議所の魅力、意義を伝える会員拡大活動や会員の資質向上は青年会議所の未来を創るうえで欠かせません。しかし、私たちが思う魅力や意義について、会員間での理解や共感には個人差があります。より良い未来を創るには、青年会議所活動の魅力や意義を会員全員で理解し、共感する必要があります。そして、会員一人ひとりが会員拡大活動に対する主体性をもち、多くの同志を集める活動に対して、意欲を増進させる必要があります。

ブランディング委員会では会員の拡大意識の向上と、個人や組織の資質向上の両輪で会員全員が会員拡大活動へ主体性を持てるよう努めてまいります。会員拡大活動における会員の意識や入会促進の手法等において、形式的な拡大マニュアルではなく、会員の一人ひとりが青年会議所の強みと存在意義を理解し、会員同志で魅力を共感し、青年会議所の想いを多くの方へ発信していきます。そして、資質向上に努めて「個」のブランディングを確立し組織のブランディングへとつなげていくと共に、会員拡大活動を全会員で助け合える体制を整えます。また、会員一人ひとりが意欲的に活動できることは何かを明確にし、拡大に向けた魅力を発信できるよう意識改革を行います。2 月度例会では会員の拡大意識における視野の拡張を行います。そして、会員拡大と資質向上の循環による効果を高めるため、会員拡大会議を実施し意識改革を行います。9 月度例会では、青年会議所でこそ掴める成長や価値を見出し、個人、組織のブランド力を具現化することで、多くの方々へ私たちの魅力や可能性を感じていただき、多くの同志を募り、会員拡大につなげていきます。

ブランディングとはファンをつくることです。青年会議所は品格のある青年集団であると一人ひとりが自覚をもって主体的に行動した結果、組織は大きく成長します。四日市青年会議所は今以上にまちや地域に求められる、人に愛される組織になると確信しています。

## 2) 事業計画

- |                            |          |
|----------------------------|----------|
| 1. 「個」のブランディングを高め組織で行う拡大活動 | 通年       |
| 2. 2 月度例会                  | 2 月 19 日 |
| 3. 9 月度例会                  | 9 月 9 日  |
| 4. 対外事業窓口（献血）              | 1 月、7 月  |
| 5. 出向者への支援                 | 通年       |
| 6. 同好会への支援                 | 通年       |

### 3) 事業予算

171,000 円

4) 委員会開催予定日

毎月第2火曜日

# 地域活性化委員会

委員長            秦        美郷  
副委員長        有川    朋邦

## 1) 基本方針

このまちは、都市の発展を図るための整備によって賑わいを取り戻しながら重要な変革の時期を迎えています。しかし、まちに住まう多くの人々は現在の生活に満足しており、まちの変化に興味を持てておらず未来への関心も薄れています。このまちの魅力は市内外に伝わりが足りておらず、まちへの帰属意識やまちを誇る気持ちが希薄化し、地域活力の維持や持続的な発展には、地域住民がまちに対しての活動意欲を向上する必要があります。

まずは、4 月度例会で地域住民がさまざまな魅力を知るために、まちにある魅力を見つめ直し、既存の魅力と新しい魅力を整理します。一人ひとりがその魅力を発信するために、伝達する方法や実践例を知ること、魅力を伝播させる意欲を高めます。地域住民がまちの魅力を市内外に広く伝えるために、参加者間で意見交換を行うことで、新たなアイデアが生まれるとともに人と人のつながりも生まれます。また、サルビア交付事業では、青少年が主体となってまちの魅力を発信するために、魅力ある体験をしてもらうことで、今後も魅力を伝える発信源となります。帰属意識やまちを誇る気持ちを持つていただくために、地域住民と交流しながらイベントに参加することで、まちと強いつながりを持ち、仲間づくりや楽しみの共有の場としても活用をしていただきます。また、10 月度例会では地域住民がまちに興味や関心を持つために、まちの魅力の発信源となる人々が集まった催しを企画し、新しい魅力を発見していただきます。まちが魅力で賑わうために、関係諸団体と協働することで、興味や関心を持った方が増加し、さらなる魅力の伝播につながります。

四日市青年会議所はまちに興味を持てる人とまちをつなぐ懸け橋となり、地域社会から信頼されるとともにより必要とされる組織になります。地域住民は活動意欲が高まり、一人ひとりが社会課題を自分事と捉え、このまちは持続可能な社会になると確信しています。

## 2) 事業計画

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 4 月度例会                     | 4 月 17 日  |
| 2. 10 月度例会                    | 10 月 26 日 |
| 3. サルビア基金積立活動                 | 1 月～9 月   |
| 4. サルビア基金交付事業                 | 8 月 24 日  |
| 5. 対外事業窓口（海洋少年団、四日市港まつり実行委員会） |           |
| 6. 出向者への支援                    | 通年        |
| 7. 同好会への支援                    | 通年        |

## 3) 事業予算

347,000 円

## 4) 委員会開催予定日

毎月第 2 木曜日

# 70 周年記念委員会

委員長          早川 諒  
副委員長        高茂 亮太

## 1) 基本方針

四日市青年会議所が 70 周年を迎えられるのは、地域の発展を願う多くの仲間が団結して社会課題に向き合い、地域に必要とされてきたからです。しかし、諸先輩方が積み上げた歴史を受け継ぐ会員が減少している今、運動の本質や地域とのつながりが失われてしまえば我々の運動は未来へつながりません。70周年の節目に、「中今」を生きる我々が歴史を紐解き、地域に必要とされる団体としてまちの新たな可能性と未来を描く必要があります。

まずは、四日市青年会議所が続いてきた理由をより明確にするために、諸先輩方が社会課題をどのように捉え運動を展開してきたのか、紡がれてきた想いや地域と共に歩んだ歴史を紐解き青年会議所運動の本質に触れる機会を提供します。そして、「中今」を生きる我々が時代の変化に対応し続ける団体であるために、現代の社会課題を自分事と捉え地域の発展に貢献する使命があると認識していただきます。さらに、社会課題の解決に向け多様性溢れる「個」の集団である我々が一丸となることで、より力強い運動になることを感じていただきます。また、これまで四日市青年会議所にご協力、ご尽力いただいた方々へ感謝を伝え、記念すべき70周年を共に祝うため創立記念式典、祝賀会を開催します。そして、これからも共に歩み続けていただくために、この先の運動指針を発表し四日市青年会議所の必要性を認識していただきます。さらに、まちに住まう人々に青年会議所運動の可能性を認知していただくために70周年記念例会を開催し、まちの文化や産業に触れるとともに、人とひとのつながりを創出し、さらにこのまちが好きになるきっかけを創出します。

これまでの運動の本質を理解し、時代に適した運動を展開しようとする行動が「個」を成長させ、仲間を呼び込み、新たな可能性を生みます。そして、多様性溢れる「個」が集い手を取り合い力強く成長していき、明るい豊かな社会の実現へとつながっていくのです。

## 2) 事業計画

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1. 3 月度例会          | 3 月 11 日 |
| 2. 5 月度例会(創立記念式典)  | 5 月 15 日 |
| 3. 5 月度事業(創立記念祝賀会) | 5 月 15 日 |
| 4. 8 月度例会          | 8 月 24 日 |
| 5. 出向者への支援         | 通年       |
| 6. 同好会への支援         | 通年       |

## 3) 事業予算

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 委員会事業費   | 30,000 円    |
| 2. 70 周年準備金 | 1,275,000 円 |

## 4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日



# 渉外委員会

委員長 伊藤 佑輔  
副委員長 中野 雄介

## 1) 基本方針

青年会議所活動の中で各地に赴くことや、様々な人々と交流をすることには多くの学びや気づきがあり、それが個の成長を促します。成長の機会は誰にでも平等に与えられていますが、最大限に活かすかどうかは個人の熱意と行動次第です。そして、まだ成長の可能性を秘めた会員がいることも事実です。そのため、会員全員が自分自身の成長の可能性に気づける環境を整えるとともに、機会を自ら掴み取ろうとする姿勢を育むことが必要です。

まず、賀詞交歓会では日頃のご支援への感謝に加え、先輩方や出席者の方々との積極的な交流を通じて四日市青年会議所に期待される姿や、評判を知る機会とします。そして、視野を広げるために、各地会員会議所との交流や公式事業等に多く触れることで知見を広げ自らを見つめ直す機会とします。これらの交流や事業に触れることが誇りや問題意識を持つことを可能にします。そのため、公式事業等や対外への積極的な参加を推進するために、各会員に楽しみや学び、意義を周知します。参加が難しい会員には現地での経験を記録し共有することで、次回参加への意欲を高める仕組みを作ります。さらに、会員同志がこれらの経験を共有し意見を交換できる場を設けることで学びを最大化して四日市青年会議所全体の成長へとつなげます。また、姉妹締結 40 周年を迎える雨港国際青年商會との交流の中で互いの歴史を振り返る記念式典と、より良い未来を創る調印式を行うことでグローバルな知見を得ます。そして、これらの活動を一番身近で支えてくれる方々に感謝の意を示すために、11 月に例会を実施して今後も応援したいと思ってもらえる団体となります。

このようにして、一人ひとりが積極的に機会を掴み成長します。その上で、会員同士が切磋琢磨し更に成長を目指す姿は格好良いと全員が思えた時、今はもちろん未来において、各々が四日市青年会議所をもっと力強くするかけがえない道標となると確信しています。

## 2) 事業計画

- |   |           |
|---|-----------|
| 1. 賀詞交歓会  | 1 月 13 日  |
| 2. 11 月度例会(家族例会)  | 11 月 23 日 |
| 3. 公式事業窓口（京都会議、ASPAC、サマーコンファレンス、東海コンファレンス、三重ブロック大会、全国大会、世界会議） |           |
| 4. 雨港国際青年商會姉妹締結 40 周年記念式典                                     | 5 月 14 日  |
| 5. 雨港国際青年商會姉妹締結 40 周年調印式                                      | 5 月 15 日  |
| 6. 出向者への支援  | 通年        |
| 7. 同好会への支援  | 通年        |

3) 事業予算 576,000 円

4) 委員会開催予定日 毎月第 2 火曜日

# 事務局

事務局長	伊藤 公一
財務委員長	中島 和人
事務局次長	加藤 信宏

## 1) 基本方針

近年、急速に進化するデジタル技術は、情報へのアクセスや技術の活用能力における格差を広げる要因とされています。このような状況は、社会的な課題として注目されており、四日市市の情報化実行計画でも、デジタル格差が解消すべき課題として位置づけられています。事務局は、成長の場である青年会議所の運営を円滑に進める中で、デジタル技術の活用に関する意識を高める契機を提供し、課題解決の一助となる活動を進めていきます。

まず、デジタル格差に対してより良い変化をもたらすリーダーへ会員が成長するため、運動を構築する中で生じる課題に対応し、デジタル技術を活用した課題解決の機会を多く提供します。また、その技術を活用した勉強会や研修会を開催し、会員が実践的知識を学ぶ場を設けます。さらに、広報活動では映像媒体を中心として研究を深め、効果的な広報を通じて会員がデジタル技術に興味を持つ機会を提供します。そして、成長の場である青年会議所を円滑に運営するためには、事務局が会議運営や資料管理などを担い、役割を果たすことで会運営を支えています。組織運営のための会議であり、志を同じくする場でもある通常総会と臨時総会では、多様な価値観を持つ会員が運動の方向性を共有し、意識の統一を図ります。さらに、卒業式では、卒業生が青年会議所で培った経験を振り返り、その成果を未来の活躍につなげるため、在籍メンバーと理想実現への意識を共有します。また、創立 70 周年を迎える今、これまで社会により良い変化をもたらしてきた四日市青年会議所の歩みを振り返り、築いた信頼と実績を未来につなげるため、記念誌を発刊します。

すでに子どもたちの原風景のすぐそばには、多くのデジタル技術が存在し、今も未来へと歩み続けています。私たちの手で効率的かつ制約の少ないデジタル技術を活用しながら、未来へと歩むことが重要です。本年をより良い未来の原風景を描くための契機とします。

## 2) 事業計画

1. 第 125 回通常総会	1 月 13 日
2. 第一回臨時総会	6 月 10 日
3. 第二回臨時総会	7 月 23 日
4. 70 周年記念誌の発行	11 月中旬
5. 12 月度例会(卒業式)	12 月 7 日
6. 出向者への支援	通年
7. 同好会への支援	通年

## 3) 事業予算

1. 委員会事業費	240,000 円
2. 70 周年準備金会計	450,000 円

## 4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日

## 来賓出席者名簿

四日市市長	森 智広 様
四日市商工会議所 会頭	小川 謙 様
四日市商工会議所 理事	山下 項士 様
衆議院議員	下野 幸助 様
衆議院議員	中川 康洋 様
衆議院議員 岡田 克也様 代理 秘書	寺田 俊公 様
衆議院議員 川崎 ひでと様 代理 秘書	永田 真巳 様
参議院議員	吉川 ゆうみ 様
三重県議会議長	稲垣 昭義 様
三重県議会議員	津田 健児 様
三重県議会議員	石田 成生 様
三重県議会議員	山内 道明 様
三重県議会議員	山崎 博 様
三重県議会議員	芳野 正英 様
四日市市議会 議長	石川 善己 様
四日市大学 学長	喜岡 渉 様
四日市海洋少年団 団長	林 正次 様
四日市商店連合会 会長	森 修平 様
三重県自治会連合会 四日市市自治会連合会 会長	山路 和良 様
四日市商工会議所青年部 会長	岩瀧 太郎 様
四日市商工会議所青年部 専務理事	川畠 伸介 様
株式会社シー・ティー・ワイ 代表取締役社長	渡部 一貴 様
株式会社シー・ティー・ワイ 営業本部 地域情報部 編成制作課 課長	金澤 昌弘 様

公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会 会長	戸嶋 一将 君
公益社団法人日本青年会議所 東海地区 三重ブロック協議会 会長	森下 巧麻 君
公益社団法人名古屋青年会議所 副理事長	立野 晶弘 君
公益社団法人名古屋青年会議所 常任理事	清水 豊大 君
公益社団法人名古屋青年会議所 理事	古川 史章 君
公益社団法人日本青年会議所 持続可能な国際開発委員会 委員長	大泉 渉 君
公益社団法人日本青年会議所 持続可能な国際開発委員会 総括幹事	上田 俊介 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 委員長	佐藤 拓郎 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 総括幹事	笠原 悠希 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 委員	東 眞一郎 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 委員	岩本 泰典 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 委員	高田 将之 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 委員	高橋 一也 君
公益社団法人日本青年会議所 2024年度 組織グループ JC教育推進委員会 委員	西村 豪志 君

本日はご臨席賜りまして誠にありがとうございます。  
 ご来賓の皆様におかれましては、  
 今後とも変わらぬご理解とご支援のほど、  
 よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人四日市青年会議所  
 メンバー一同

四日市 J C シニアクラブ会員 出席者名簿

有限会社プリズム	大矢知直登	先輩
社会福祉法人永甲会	永田 正巳	先輩
アミカン株式会社	伊藤 勘作	先輩
株式会社大正館	小川硬一郎	先輩
仲野整體整骨本院	仲野 弥和	先輩
矢野防災設備株式会社	矢野 正剛	先輩
アビオン株式会社	堀木 俊男	先輩
株式会社タナカ	田中 俊徳	先輩
株式会社玉賜園	増田 潤治	先輩
株式会社朝日歯車製作所	矢野 晶久	先輩
美しいキモノとき和株式会社	林 典弘	先輩
萩野メタルワークス株式会社	萩野 昌毅	先輩
株式会社イトジュ	伊藤 靖則	先輩
株式会社ティーケーシー	堀木 直弘	先輩
名四土地開発株式会社	今井 利昌	先輩
株式会社プラトンホテル	佐野 貴信	先輩
宗教法人光運寺	伊藤 洋介	先輩
西岡公認会計士事務所	西岡 朋晃	先輩
東亜設備工業株式会社	児玉 光輝	先輩
石井燃商株式会社	石井 智光	先輩
株式会社益生小型運送	伊藤 達也	先輩
有限会社富士クラッチ工業所	藤村 貴	先輩
三重促成株式会社	福村 康仁	先輩
株式会社 S D コンサルティング	津田 正雄	先輩
株式会社大正館	小川 晃範	先輩
四日市市議会議員	樋口 龍馬	先輩
東洋工業株式会社	伊藤 彰	先輩

森寺土地家屋調査士事務所	森寺 奉仁	先輩
三重総合警備保障株式会社	竹内 俊介	先輩
ブライダルコスチュームみつもと	光本 尚貴	先輩
祭居酒屋はごいた	橋本 真宏	先輩
株式会社江川塗装	江川 稔規	先輩
株式会社日本総合施設	里中 祐介	先輩
株式会社GYXUS	平田富太郎	先輩
株式会社ナルカワ	生川 雄規	先輩
株式会社シンエイテクノ	西川 晴義	先輩
株式会社GMC	田村 尚也	先輩
ホルモン酒場おんどる	徐 正和	先輩
四日市市議会議員	平野 貴之	先輩
トライアル自動車	西尾信太郎	先輩
ソニー生命保険株式会社	伊藤 祐一	先輩
株式会社ルーシッドテック	大谷 健輔	先輩
三重総合警備保障株式会社	平松 大輔	先輩
株式会社古川電気設備	古川 泰久	先輩
国際支援マネジメント協同組合	芥川 聡	先輩
ホンダカーズ四日市南	川口 真輝	先輩
社会保険労務士フェイルノート	國安院ゆみ	先輩
四日市市議会議員	後藤 純子	先輩
株式会社大宝コンサルタント	筒井 淳士	先輩
株式会社昭和産業	藤岡 良輔	先輩
矢野防災設備株式会社	矢野 陽一	先輩
ジェイネクスト	中山 淳二	先輩
株式会社角屋	伊藤 尚貴	先輩
アルフィー株式会社	田中 充彦	先輩
ヴィンテージ宮田自動車株式会社	宮田 知	先輩
フコク印刷工業有限公司	光用翔太郎	先輩
HILLS本店	樋口 裕起	先輩

本日はご臨席賜りまして誠にありがとうございます。  
四日市JCシニアクラブ会員の皆様におかれましては、  
今後とも変わらぬご支援とご指導のほど、  
よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人四日市青年会議所  
メンバー一同